

【本校の教育活動】

I 学び合い

本校は、「主体的、対話的で深い学び」の実現に向けて児童同士の学び合いを大切にしてきた。学校課題の「自らよく考え、分かりやすく表現し、共に学び合う児童の育成～ユニバーサルデザインの視点を生かして～」に関して昨年度の反省を生かし、さらに深化を図っていく。また、市の研究指定を受けた人権教育をユニバーサルデザインの視点と重ねたうえでの推進にも努めていく。また、すべての基盤としての基礎学力の定着に注力することで、学力の向上を目指していく。



II 地域の教育力・外部組織との連携・協働



学校運営協議会を核にコミュニティスクールを推進し、アシストネット(学校支援ボランティア)の積極的な活用を図る。地域環境の授業活用や教材化、人材の発見・活用を推進する。また、地域社会への参画、貢献を、教科・領域との関連を図りながら推し進め地域とともにある学校づくりを目指す。



III なかよし班活動



全校児童を縦割りグループ(1年生から6年生までが所属するグループ)に分け、「なかよし班」を編制し、集会活動などで交流する活動を行う。「なかよし班」での共遊の時間を設けることで、異学年交流を推進し相互理解、仲間づくりを図っている。これまでの継続的な取組を通し、全校児童は、非常に仲が良く、家族的な雰囲気と結束力をもった集団が形成されている。また、清掃活動も「なかよし班」で行っている。なかよし班の更なる活動の充実を図る。

IV 小中一貫教育



南中ブロック小中一貫教育を推進する。令和6,7年度、市より「人権教育研究」の指定を受け、南中学校区の人権教育を通した系統的な指導内容及び指導方法の実践研究を始めていく。目指す子ども像を「自分でできることは自分でやり、よく考えて行動し、節度ある生活をする子」との連動を踏まえ、取組を進めていくことで、さらに小中一貫教育を推進する。

V ICT活用

タブレット型 PC、大型テレビなどの機器を積極的に授業で活用し、学習効果をあげる取組を実践してきた。今年度も一人一台タブレット端末の活用、プログラミング教育の実践等、ICTの積極的な活用を進めていく。また、学年ごとの系統立てた自宅での活用も構築していく。

VI ビオトープの活用

校内にあるビオトープを活用し、水辺の植物や生物の生態を実際に観察することで自然に親しみ、興味や関心を高め、生活科や理科の学習に生かしていく。